

令和7年9月20日

竜川地区社会福祉協議会

会長 元木 隆

たつかわ

今月は敬老月間です。そこで、お年寄りにちなんだ話題をお届けします。

皆さんご存じのとおり、我が国は異常なペースで高齢化が進んでおります。今年6月に発表された「高齢社会白書」によると、令和6年10月1日現在の我が国の総人口は1億2,380万人で、65歳以上の人口は、3,624万人となっており、高齢化率は29.3%。この内「65歳～74歳の人口」は1,547万人で、総人口に占める割合は12.5%です。

また、「75歳以上の人口」は2,078万人で、同様に総人口に占める割合は16.8%となっており、65歳～74歳の人口を上回っています。このようなことから、2070年には2.6人に1人が65歳以上となり、その内約4人に1人が75歳以上となるそうです。やがて我が国は、超高齢化社会がやってきます。

こうした中、高齢者の日々の生活実態では、収入を伴う仕事をしている高齢者の割合が年々増加しているそうです。なお、仕事をする理由としては、「収入のため」が最も多く、次いで、「働くのは健康に良いから、老化を防ぐから」、「自分の知識・技能を生かせるから」が挙げられています。また、家計に対する不安は、75歳以上の高齢女性において高く、特に、ひとり暮らしの人が家計への不安を多く抱えています。なお、具体的な不安としては、物価の上昇を挙げる人が多くいました。今日の物価上昇が高齢者の生活に大きな影響を与えていることが分かりました。

これまで、社会を支えてきたお年寄り達は、いつまでも健康で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。そのためには、安全・安心な社会で、高齢者も積極的に社会参加をして、より多くの方々との交流を図るとともに、趣味や興味のあることに取り組んでいただき、心豊かな暮らしを送って欲しいと思います。

楽しかった ふれあい夏祭り



“力を合わせて” チビッコ達も頑張りました



お年寄りも手拍子で—— 全員参加の総踊り

令和6年度 竜川地区地域振興協議会 事業・決算報告

I 事業報告

竜川地区振興協議会では、市からの「環境・コミュニティ事業交付金（資源ごみ回収により生じたお金）」を活用して、地区内の各種事業に対し、事業の推進と活性化を図るため、助成を行いました。

1 例年実施されている事業への助成

- (1) 市社会福祉協議会の会費及び教育振興会への助成
- (2) 竜川地区自主防災会に対し、防災訓練実施に伴う助成
- (3) 竜川地区安全・安心パトロール隊に対する助成
- (4) 地域無形文化財継承事業として、シカシカ踊り保存会へ助成
- (5) 幼稚園、保育所等への地域交流事業に対する助成



2 臨時的に実施された事業への助成

- (1) 1 自主防災会の避難所開設訓練に対する助成

II 決算報告

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前年度繰越金	1,374,333	1,374,333	
環境・コミュニティ事業推進交付金	1,784,000	2,250,000	市から竜川地区環境推進連合会を 経由して年4回交付
諸収入	667	360	預金利息
合 計	3,159,000	3,624,693	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
事業費	2,060,000	1,880,000	
市社会福祉協議会会費	660,000	660,000	500円×1,320世帯
竜川教育振興会	450,000	450,000	助成金（小学校：30万円、幼稚園： 10万円、保育所：5万円）
竜川地区自主防災会	100,000	100,000	避難訓練等への助成金
竜川地区自主防災会（提案型）	250,000	250,000	公認追加避難所に伴う助成金
竜川青色パトロール隊	100,000	100,000	助成金
地域無形文化財継承事業	300,000	250,000	シカシカ踊り保存会への助成金
地域自主事業	200,000	70,000	地域交流事業（幼稚園：2万円、保育所： 2万円、婦人会：3万円）
事務費	110,000	191,266	
会議費	10,000	3,400	会議用お茶代
備品・消耗品費	80,000	162,766	ノートパソコン購入等
通信運搬費	10,000	240	切手代
雑費	10,000	24,860	プリンター修理代
報奨費	30,000	0	
予備費	959,000	0	
合 計	3,159,000	2,071,266	

※ 決算額の収入から支出を差し引いた 1,553,427円は、次年度へ繰り越します。

“つながる たすけあうまち 竜川”を目指して 第5次竜川地区社会福祉協議会地域福祉活動計画 (令和7年度～令和11年度)

この度、次のとおり「第5次竜川地区地域福祉活動計画」が策定されました。

I 福祉目標

「つながる たすけあうまち 竜川」を福祉目標に掲げ、基本目標として「1 住みよい地域づくり活動の推進」「2 高齢者支援活動の推進」「3 子育て支援・児童福祉活動の推進」「4 組織・財政の強化」とし、竜川地区の地域福祉活動に取り組みます。

II 重点項目

- 1 住みよい地域づくり活動の推進
 - ・地域支え合い活動の推進・・・地域交流の場づくり
 - ・地域ふれあい活動の推進・・・ふらっと集まれる居場所づくり
 - ・各種相談会議の開催
 - ・安心安全な地域づくり活動・・・見守り活動や青パトの活動推進
 - ・地域住民に向けた啓発活動・・・広報誌の発行
- 2 高齢者支援活動の推進
 - ・地域見守りネットワーク体制の強化・・・福祉委員（見守り活動推進員）と民生委員による見守り活動の強化
 - ・ふれあい・いきいきサロンの推進・・・新規サロンの設立、支援
 - ・高齢者ふれあい会の推進
- 3 子育て支援・児童福祉活動の推進
 - ・子育て相談会の開催
 - ・三世代交流会の開催
 - ・地域と子どもの交流・・・高齢者の特技や趣味を生かした交流の場づくり
- 4 組織・財政の強化
 - ・組織体制の見直し
 - ・福祉意識の醸成・地域活動の担い手づくり

III 第5次地区地域福祉活動年次計画書について

竜川地区の福祉目標、基本計画に基づき、今後5か年間の推進計画を策定しました。

IV 計画の推進と点検について

計画の推進については、執行役員や部会等を設置し、検討する。この計画の推進状況については、役員会で毎年点検するとともに見直しを行う。



見守り活動推進員の研修会



わいわい亭



三世代交流会

令和7年度(上期) 竜川地区社会福祉協議会の活動報告

1 地区社協総会の開催

令和7年5月31日(土)、竜川公民館におきまして、7年度竜川地区社会福祉協議会の総会が開催されました。総会には、役員・福祉委員・運営委員101名の内、委任状を含めて70名の方が出席されました。

来賓として、市社会福祉協議会の近藤常務理事と村井事務局長が出席され、来賓祝辞の後、議事に移り、提案された6年度の事業報告、決算報告、7年度の事業計画案、予算案等と第5次竜川地区地域福祉活動計画が承認されました。



長時間に亘って熱心に議論が—

2 盛大に開催された「ふれあい夏祭り」



汗だくで頑張りました焼き鳥のスタッフ



懐かしくて好評だったパットライス

令和7年8月23日(土)、“千手苑・まどか”で、「ふれあい夏祭り」が開催されました。夏祭りは、介護福祉施設の慰問とキッズクラブと高齢者の三世代交流会を目的に毎年開催されており、お年寄りからチビッコまで約200人が参加。皆さんは、カラオケを楽しんだり、ちびっ子たちによる神輿には大きな声援が……。また最後を飾る総踊りでは、一緒に手足を振って踊るなど、楽しいひと時を過ごしました。

一方、地区社協の役員さんらによる食べ物コーナーでは、大粒の汗をかきながら、「焼き鳥やかき氷、パットライス」を作り、訪れた皆さん方に提供いたしました。

今年イベント用に購入したポン菓子機が大活躍。お年寄りにとって、昔懐かしいパットライスは大好評でした。

3 小学校・幼稚園と地区民生委員・児童委員との懇談会の開催



令和7年6月11日(水)、竜川小学校で、竜川地区の民生委員・児童委員と小学校、幼稚園の先生方との懇談会を開催しました。地域において子育て世帯や抱えている問題等について、解決に向けてどのように支え、応援することができるか、取り組みや関わり方について意見交換しました。

問題解決に向け、様々な意見が出されました

4 一人暮らしのお年寄りをご招待

地区社協では、来る11月1日(土)、善通寺市民会館で開催される、善通寺チャリティーコンサート「東京大衆歌謡楽団」に、地区に住む一人暮らしのお年寄りを招待します。

富山県出身の4人組ユニットによる「古き良き昭和初期の流行歌」を、ぜひ楽しんでもらえたらと思います。



令和6年度 竜川地区社会福祉協議会事業報告

竜川地区社会福祉協議会では、福祉向上を図るため次のとおり活動を行いました。

1 実施した事業

- (1) 給食サービス活動 実施回数19回 579人参加 事業費：311,400円
- (2) 見守り支援活動 独居老人訪問 113人 (茶そば持参) 事業費：92,110円
- (3) ふれあいいきいきサロン活動 13サロンで145回開催、1,062人参加 事業費125,000円
- (4) 居場所活動 サロン・居場所参加者 事業費：102,500円
- (5) ふれあい夏まつりの開催(千手苑) 事業費：66,181円
- (6) ふれあい会活動 活動用ゴミ袋購入(8,000枚) 事業費：49,120円
- (7) ポン菓子機の購入(イベント時に実施) 事業費：475,674円
- (8) 外出支援バス運行事業 年間58回運行 15グループが利用
- (9) 広報誌「たつかわ」第31号・第32号の発行 事業費：119,240円
- (10) 見守り活動推進員の研修 事業費：184,100円



各地域で開催された
ふれあいいきいきサロン活動



友愛訪問



施設見学等研修は外出支援バスの運行で



イベント時に活躍するポン菓子機

2 他団体が実施した事業への助成

- (1) 幼・小・保へ助成 事業費：60,341円
- (2) 民生委員・児童委員へ助成(活動助成) 事業費：30,000円
- (3) 安全安心パトロール隊助成(活動助成) 事業費：30,000円

令和7年度 善通寺市社会福祉協議会 特別会員 (竜川地区)

この度は福祉のまちづくりを進めるため善通寺市社会福祉協議会の特別会員として多くの皆様に参加していただき、誠にありがとうございました。

ご支援いただいた会費は、小学校ごとに地区社会福祉協議会の活動支援や各種ボランティア団体への支援、善通寺市社会福祉協議会の行うさまざまな地域福祉活動に活用させていただきます。

なお、失礼でございますが、竜川地区内の特別会員のみの掲載となります。また、順不同並びに敬称は、失礼させていただきます。

令和7年8月31日現在

* 香川音響株式会社	* 寿賀崎建設株式会社	* 株式会社 ゼンシヨク
* 丸善織物株式会社	* 元木建設株式会社	* 田所医院
* 有限会社ジャンボうどん高木	* 大西 寛	* 医療法人社団功寿会
* 真鍋 誠孝	* 入江材木有限会社	* 藤沢医院
* 金倉寺	* アクティさとう	* 草薙 昭典
* フジファミリー株式会社	* 株式会社 アステイス	* にしかわクリニック
* 谷病院	* 大西 千代子	* 大塚 京子
* 田中 渉	* 岡屋商店	* 有限会社中央商事
* 林 謙二	* 片長 時夫	* 大平 洋子
* 神原 眞里子	* 高木 冷子	* 塩田 薫
* 眞鍋 博行	* 平尾 礼子	* 宮下 義明
* 四宮 隆幸	* 谷畑 雅稔	

自治会員の皆様へ（お知らせ）

これまで、各自治会を通じて、年末に集金をお願いしておりました①赤い羽根の共同募金（一世帯当たり700円）、②歳末助け合い募金（一世帯当たり300円）、③日赤（一世帯当たり500円）、以上の3種類の募金（合計一世帯当たり1,500円）につきましては、今年度からは市社会福祉協議会会費（一世帯当たり500円）と同様に、竜川地区地域振興協議会の会計（市からの環境・コミュニティ事業推進交付金、即ち資源ごみ回収交付金）から一括して納付することにいたしました。従いまして、年末の集金は無くなりましたので、お知らせします。

自治会長さんには、長い間ご協力をいただきまして有難うございました。

編 集 後 記

本編でも触れていますが、超高齢化社会は私たちの竜川地区も例外ではありません。令和7年4月1日現在の竜川地区にお住まいで「長寿を祝う会」の対象者となる満75歳以上の方（今年度中に満75歳になる方を含む）は、1002名となり、初めて千人を超えました。一方で、市の人口は3万人を切る状況で、これだけでも善通寺市の高齢化が顕著に進んでいると実感する出来事でした。

そんな中、「長寿を祝う会」も少し実施方法を変更しました。コロナ禍以降、自治会長さんや民生委員さんが直接訪問してお祝い品をお渡ししていましたが、さすがに千人を超えるとこの方法には限界があります。そこで、元気な高齢者の皆様やご家族等が代理で受け取りができる方は、竜川公民館までお祝い品を受け取りに来ていただくという方法に変更しました。対象者の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。なお、公民館での受け取りがどうしてもできない方につきましては従来通り訪問してのお渡しとしますので、ご安心ください。

竜川地区社会福祉協議会広報紙「たつかわ」編集委員 横山 孝信・大西 智晴